

事業計画書

事業名	リノベーション DIYのワークショップ
場所	沼津市大岡 1972-6 Antique door 2階コワーキングスペース
期間	平成28年7月1日～平成28年9月30日
日程	実施項目・作業項目
	<p>【実施内容】</p> <p>ワークショップは計10回実施。</p> <p>1～2回目：図面の書き方講座 建築士を招いてリノベーションをする前に図面を書く講習会実施。</p> <p>3～5回目：DIYのワークショップ 大工さんを講師に『タイル張りに挑戦。』</p> <p>6～8回目：DIYのワークショップ 大工さんを講師に『棚付け作業と壁塗体験』</p> <p>9～10回目：実際の中古不動産で購入までを疑似体験 実際の中古不動産を使い不動産探しのコツを伝授</p> <p>参加者以外にも予約いただければ期間中、立ち入って進捗状況を確認も可能。</p> <p>【実施場所】</p> <p>沼津市大岡 1972-6 アンティークドア2階コワーキングスペース 沼津市内で、実際稼働中の創業支援コワーキングスペース内</p> <p>【参加対象】</p> <p>将来的に沼津市内に中古不動産を購入し、DIYやリノベーションで自分なりの住まいをつくらうとしている人 その子供。←中古物件を購入する世代（子育て世代）をターゲットとするため、子供も参加できる工夫をしている。</p> <p>【スケジュール等】</p> <p>1～2回目 7月中旬 3～5回目 小学校等の夏休み期間中 6～8回目 // 9～10回目 8月下旬の土日</p> <p>リノベーションのワークショップは親子参加ができる日程に調整。 なるべく家族全員が楽しめるように配慮。</p>
事業効果	<p>【効果】</p> <p>中古不動産を購入し、セルフリノベーションをしてみたいという人は意外と多いが、未経験者が行動に移すにはハードルが高い。そこで、沼津市内に中古不動産を購入する意思のある人を対象に、リノベーションに取り組む人材育成の場を提供することにより、興味のある人の行動変容を促し、遊休不動産の活用を図る。</p> <p>今年度は初めての取り組みとして活動を周知させ、協賛業者や参加者の増加を図ることで、将来的には補助金に頼らず、自立した事業の継続を目指す。</p> <p>【成果目標】</p> <p>参加者：10回×@2,000円×@5人=100,000円</p>

<p>公益性</p>	<p>東日本大震災以降、海岸線沿いを含め近隣市町に比べ遊休不動産が増え、人口流出率も高い。遊休不動産の活用を促す本事業は、街に人を呼び戻し、活気が戻ることにつながるため、利益増進に寄与する事業である。</p>
<p>発展性</p>	<p>将来的には、補助金に頼らずに企業からの協賛金や参加者からの参加料等で年間数回の開催を考えている。今回の取り組みにより実績ができ、信頼を確保することで、今後の事業展開につながると考えている。</p>
<p>地域性</p>	<p>沼津市は、津波の影響が甚大だった東日本の震災以降近、近隣市町に比べ遊休不動産が増加している。しかし視点を変えると遊休不動産の件数が多く、活かし方次第では大いに活気を取り戻せる可能性を秘めている。遊休不動産の活用により、エリアの価値の向上や、まちのにぎわいの創出を図る。</p>
<p>必要性</p>	<p>沼津市では、リノベーションまちづくりに取り組んでおり、中古物件をセルフリノベーションを行い定住したいという人もいる。しかし、経験のない人が実際の物件をリノベーションをすることはハードルが高いため、リノベーションに取り組む人材育成の場の設置は不可欠である。</p>
<p>先導性</p>	<p>沼津市では、リノベーションまちづくりに取り組んでおり、全国の事例を紹介する講演会等、情報提供の場は増えてきている。しかし、リノベーションに取り組む人材育成の場は少ないため、本事業は新たな取り組みであると考えている。また、単にDIYの練習を行うのではなく、リノベーション後、実際にコワーキングスペースとして活用する物件を対象とすることで、参加者の自信につながるよう工夫した。ワークショップ後も情報共有ができるよう、参加者やコワーキングスペース入居者の交流の場となるようなワークショップを目指す。</p>
<p>継続性</p>	<p>ワークショップにより沼津市内で数か所ワーキングスペースをつくり、新たなスタイルの働き方の提案も行ってきたと考えている。これらの実績を発信し、協賛者を得ることで、将来的には、補助金に頼らずに企業からの協賛金や参加者からの参加料等で年間数回ワークショップを開催していく。</p>